

Pro-face

by Schneider Electric

マルチディスプレイアダプター 取扱説明書

安全上のご注意

重要な情報	4
-------------	---

概要

概要	6
梱包内容	7
本書について	8

各部名称

PFXZCDADEXR1	9
LED 表示	10

仕様

電氣的仕様	11
環境仕様	11

インターフェイス

DIO インターフェイス	12
--------------------	----

取り付け

取り付け手順	14
取り外し手順	17

DIO コネクター

DIO コネクター	19
-----------------	----

VESA 取り付けアダプター

VESA 取り付けアダプターの取り付け	21
---------------------------	----

規格

規格	24
----------	----

重要な情報

注記

本書をよくお読みいただき、装置の正しい取り扱いと機能を十分ご理解いただいた上で、設置、操作、保守を行ってください。本書および装置には以下の表示が使われています。これらは潜在的な危険を警告したり、手順を明確化あるいは簡素化する情報について注意を呼びかけるものです。



この記号が「危険」または「警告」安全ラベルに追加されると、電気的な危険が存在し、指示に従わないと人身傷害の危険があることを示します。



安全警告記号です。人的傷害の危険性があることを警告します。この記号の後に記載された安全に関する情報に従って、人的傷害や死亡の危険性を回避してください。

⚠ 危険

危険は、危険が生じる可能性のある状況を示します。回避しないと、死亡や重傷を招きま
す。

⚠ 警告

警告は、危険が生じる可能性のある状況を示します。回避しないと、死亡や重傷を招くおそ
れがあります。

⚠ 注意

注意は、危険が生じる可能性のある状況を示します。回避しないと、軽傷を招くおそれがあり
ます。

注記

この表示は、指示に従わないと物的損害を負う可能性があることを示します。

以下の点に注意してください。

電気装置の設置、操作、サービス、および保守は有資格者のみが行うことができます。定められた範囲外の使用によって生じた結果については、シュナイダーエレクトリック社あるいは系列会社（以下、シュナイダーエレクトリックと称します）は一切の責任を負いかねます。

有資格者とは、電気装置の構造および操作ならびに設置に関する技術と知識を持ち、関連する危険性を認識して回避するために安全性に関するトレーニングを受けた人を指します。

概要

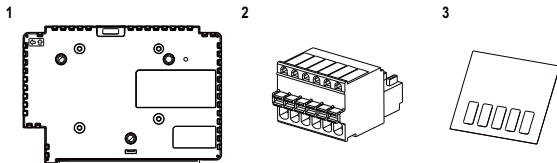
本製品は、SP5000 シリーズ ディスプレイモジュール (これより「ディスプレイモジュール」と称します。) に装着することにより、ホストの画面をイーサネットネットワーク上のディスプレイモジュールに表示することができます。

注記:

- 本製品は無線 LAN には対応していません。本製品にディスプレイモジュール無線 LAN モデルを装着してご使用の場合でも、本製品とホストとの接続には有線 LAN での接続が必要です。
- ディスプレイモジュールの型式については、SP5000 シリーズハードウェアマニュアルを参照してください。

梱包内容

梱包箱には、以下のアイテムが入っています。ご使用前に、以下のアイテムがすべて揃っていることを確認してください。



- 1 マルチディスプレイアダプター (型式: PFXZCDADEXR1): 1
- 2 DIO コネクター: 1
- 3 USB マスクシール (mini-B)*1: 1
- 4 マルチディスプレイアダプター取扱説明書 (本書): 1

*1 本製品を SP5000 シリーズ プレミアムディスプレイとご使用の場合は、プレミアムディスプレイの USB (mini-B) ポートはご使用になれません。USB マスクシールを USB (mini-B) ポートに貼り付けてください。

品質や梱包などには出荷に際し、万全を期しております。
万一破損や部品不足、その他お気付きの点がありましたら、直ちに弊社カスタマーケアセンターまでご連絡くださいますようお願いいたします。

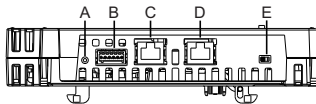
本書について

本書は製品の配線・設置について説明しています。
本製品のディスプレイ設定、ホストへの接続可能台数や接続設定は設定ソフトウェアに依存します。詳細については、マルチディスプレイアダプターユーザズマニュアルを参照してください。弊社サポート専用サイトからダウンロードできます。

<http://www.pro-face.com/trans/ja/manual/1001.html>

PFXZCDADEXR1

底面図



- A: リセットスイッチ *1
B: DIO インターフェイス
C: イーサネットインターフェイス (Ethernet1)
D: イーサネットインターフェイス (Ethernet2)
E: DHCP スイッチ *2

*1 工場出荷状態に戻すスイッチ。リセットスイッチを押した状態でディスプレイモジュールの電源を入れ、リセットスイッチを6秒以上押し続けると、工場出荷状態に戻ります。更新された待機画面やファームウェアは保持されません。

*2 DHCP サーバー機能を有効 / 無効にするためのスイッチ。工場出荷時はオフに設定されています。

注記：

- 各種設定については、マルチディスプレイアダプターユーザーズマニュアルを参照してください。
- 推奨イーサネット通信速度：1000BASE-T (カテゴリー 5e のイーサネット用ツイストペアケーブルを使用してください)。
- 通信が途切れないよう、ツメ付きのイーサネットケーブルを使用し、コネクタからケーブルが外れないようにしてください。

LED 表示

ステータス LED

本製品の状態は、ディスプレイモジュールのステータス LED にて確認してください。

色	状態	内容
緑色	点灯	運転中
	ホタル点灯	バックライト消灯時 (スタンバイモード)、もしくは画像入力信号なし
緑色 / 橙色	交互	マルチディスプレイアダプター設定中
橙色	点滅	マルチディスプレイアダプター通信接続待ち
赤色	点灯	通電中
橙色 / 赤色 / 緑色	交互	表示器異常 ^{*1}
—	消灯	無通電時

*1 製品が故障している可能性があります。弊社カスタマーケアセンターまでご連絡ください。

注記：

- ・ 緑点灯中または橙点灯中に適切な手順で通信が切断されなかった場合、本製品を再起動するまで緑点灯または橙点灯が継続します。
- ・ 画面に表示がなくステータス LED がホタル点灯ではない場合、バックライトが切れている状態です。画面に表示がない場合は、必ず LED の状態をチェックし、タッチ操作は行わないでください。

電氣的仕様

電源	定格電圧	12 Vdc (ディスプレイモジュールから供給)
	消費電力	8 W 以下

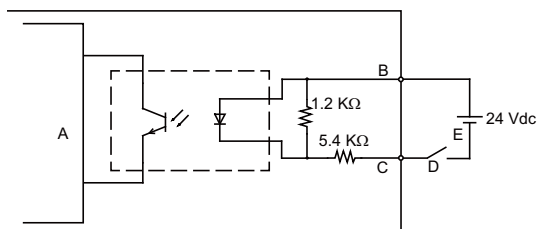
環境仕様

物理的環境	使用周囲温度	0...60 °C (32...140 °F)
	保存周囲温度	-20...60 °C (-4...140 °F)
	使用および保存周囲湿度	10...90% RH (結露のないこと、湿球温度 39 °C [102.2 °F] 以下)
	じんあい	0.1 mg/m ³ (10 ⁻⁷ oz/ft ³) 以下 (導電性塵埃のないこと)
	汚染度	汚染度 2

DIO インターフェイス

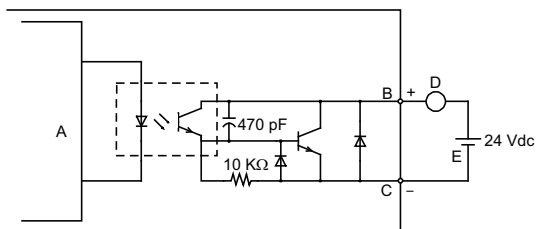
接続ケーブル側	ピン	信号名	方向	内容
	1	Request	入力	タッチパネル操作権の要求
	2	Request_GND	-	Request 用グラウンド
	3	Release	入力	タッチパネル操作権の解放
	4	Release_GND	-	Release 用グラウンド
	5	Lamp	出力	タッチパネル操作権の取得時に出力
	6	Lamp_GND	-	Lamp 用グラウンド

Request / Release



- A 内部回路
- B ピン番号 1 または 3: Request または Release
- C ピン番号 2 または 4: Request_GND または Release_GND
- D スイッチ
- E 外部電源

Lamp



- A 内部回路
- B ピン番号 5: Lamp
- C ピン番号 6: Lamp_GND
- D 負荷
- E 外部電源

注記: 出力端子には保護機能がありません。出力配線のショート、または誤配線により本製品が破損する恐れがあります。負荷に応じたヒューズを、必要に応じて接続してください。

取り付け手順

ディスプレイモジュールへの取り付け

危険

感電、爆発、閃光アークの危険性

- システムのカバーまたは部品を取り外す前、および付属品、ハードウェア、またはケーブルの取り付け/取り外しの前に、装置のすべての電源を外してください。
- ディスプレイモジュールおよび電源供給元の両方から電源ケーブルを外してください。
- 電源オフの確認は、必ず正しい定格の電圧検出装置を使用し、電源が供給されていないことを確認してください。
- ディスプレイモジュールに電源を入れる前に、システム内のすべてのカバーおよび部品を取り付けて固定してください。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

注記

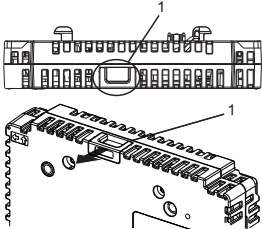
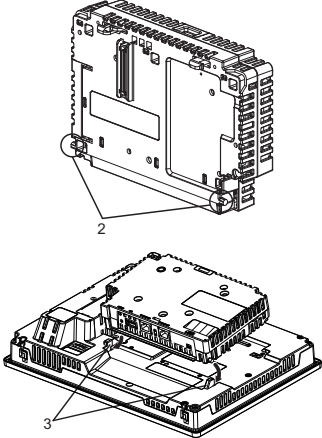
機器の損傷

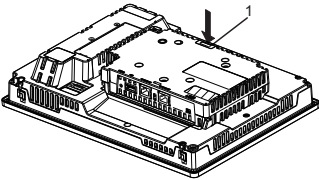
- 縦取り付けの場合は、先にディスプレイモジュールに本製品を取り付けてから、パネルに取り付けてください。
- ディスプレイモジュールに本製品を取り付ける場合は、ディスプレイモジュールの表示面を下にして、清潔で水平なところにおいてください。

上記の指示に従わないと、物的損害を負う可能性があります。

本製品を機器に組み込む場合は、以下の事項にご注意ください。

- 本製品の背面部はエンクロージャーとして認定されていません。本製品を機器に組み込む際は、機器全体として規格に適合するエンクロージャーを構成してください。
- 本製品は屋外使用を前提に設計されていません。また、室内専用機としてUL 認証を取得しています。

手順	手順内容
1	<p data-bbox="200 157 912 209">本製品上面にあるロック (LOCK) を手前に引き、ロックを解除します。</p>  <p data-bbox="200 559 389 582">1 ロック (LOCK)</p>
2	<p data-bbox="200 594 929 675">本製品底面の左右にある突起物を、ディスプレイモジュール背面にある 2 箇所穴に差し込み、本製品をディスプレイモジュールに装着します。</p>  <p data-bbox="200 1301 343 1354">2 突起物 3 差し込み穴</p>

手順	手順内容
3	<p>本製品上面のロック (LOCK) を完全に押し込み、本製品をディスプレイモジュールに固定します。</p>  <p>1 ロック (LOCK)</p>

注記: ディスプレイモジュールのパネルへの取り付け方法については、SP5000 シリーズハードウェアマニュアル、または SP5000 シリーズ (ディスプレイモジュール) 取扱説明書を参照してください。

取り外し手順

ディスプレイモジュールからの取り外し

危険

感電、爆発、閃光アークの危険性

- システムのカバーまたは部品を取り外す前、および付属品、ハードウェア、またはケーブルの取り付け/取り外しの前に、装置のすべての電源を外してください。
- ディスプレイモジュールおよび電源供給元の両方から電源ケーブルを外してください。
- 電源オフの確認は、必ず正しい定格の電圧検出装置を使用し、電源が供給されていないことを確認してください。
- ディスプレイモジュールに電源を入れる前に、システム内のすべてのカバーおよび部品を取り付けて固定してください。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

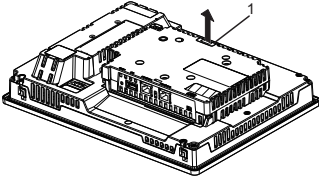
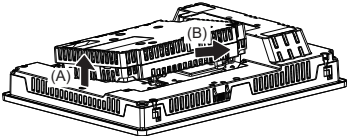
注記

機器の損傷

縦取り付けの場合は、ディスプレイモジュールがパネルに付いたままの状態、ボックスモジュールをディスプレイモジュールから取り外さないでください。

上記の指示に従わないと、物的損害を負う可能性があります。

手順	手順内容
1	<p>縦取り付けの場合は、ディスプレイモジュールをパネルから取り外し、ディスプレイモジュールの表示面を下にして、清潔で水平なところに置きます。</p> <p>注記: ディスプレイモジュールのパネルからの取り外し方法については、SP5000 シリーズハードウェアマニュアル、または SP5000 シリーズ (ディスプレイモジュール) 取扱説明書を参照してください。</p>

手順	手順内容
2	<p>本製品の上面にあるロック (LOCK) を図の矢印の方向に引き解除します。</p>  <p>1 ロック (LOCK)</p>
3	<p>本製品を図の矢印 (A) の方向に持ち上げ、矢印 (B) の方向にスライドさせて取り外します。</p> 

▲ 注意

怪我のおそれ

ディスプレイモジュールから取り外す際は、本製品を落とさないようにご注意ください。

- 金具を取り外した後、本製品を支えてください。
- 両手を使用してください。

上記の指示に従わないと、傷害または物的損害を負う可能性があります。

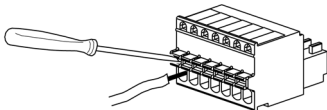
DIO コネクター

⚠ ⚠ 危険

感電の危険

- DIO コネクターの配線は、必ずコネクターを本製品から外した状態で行ってください。
- 電線ストリップ長は適正值の範囲を守ってください。
- 電線（より線）ははんだメッキしないでください。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

手順	手順内容
1	オレンジ色のスプリング開放ボタンの溝にマイナスドライバーを合わせ、押し込んだ状態で電線挿入口（○穴）に電線を差し込みます。
2	開放ボタンからマイナスドライバーを離します。電線挿入口が閉口し、電線が固定されます。電線を抜く場合は、スプリング開放ボタンの溝にマイナスドライバーを合わせ、押し込んだ状態で電線挿入口から電線を抜いてください。 
3	配線済みのDIO コネクターを本製品のDIO インターフェイスに差し込みます。

推奨：

- ・ マイナスドライバー：フエニックス・コンタクト (株) 製 SZS 0.4 X 2.0 (Product No. 1205202)
他社の製品をご使用になる場合は、以下の寸法であることを確認してください。
- ・ 刃先厚：0.4 mm (0.02 in)
- ・ 長さ：2.0 mm (0.08 in)

刃先形状のもので、DIN 5264、および EN60900 に基づいた絶縁性を有するもの。

注記：

- ・ 適合電線サイズ AWG 28 ～ AWG 20 でより線のものを使用してください。
- ・ Style 1015 または Style 1007 が適合電線です。
- ・ 電線ストリップの長さは 8.0 mm (0.31 in) です。
- ・ 銅製の導線をご使用ください。

VESA 取り付けアダプターの取り付け

本製品の背面のアダプター取り付け穴に シュナイダーエレクトリック製 VESA 取り付けアダプター (型式: PFXZSPADVS1) を取り付けることで、VESA 75 mm 仕様の市販のアームや壁設置アダプターを取り付けることができます。

注記: アームや壁設置アダプターの取り付け方法については、製品の取扱説明書を参照してください。

▲ 注意

怪我のおそれ

- 市販のアームや壁設置アダプターに取り付ける、または取り外す際は、本製品を落とさないようご注意ください。
- 金具を取り外した後、本製品を支えてください。
- 両手を使用してください。
- VESA 取り付けアダプターに取り付ける前に、本製品をディスプレイモジュールに取り付けてください。
- 本製品を市販のアームや壁設置アダプターに取り付ける際は、指を怪我しないように十分ご注意ください。

上記の指示に従わないと、傷害または物的損害を負う可能性があります。

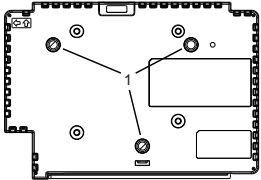
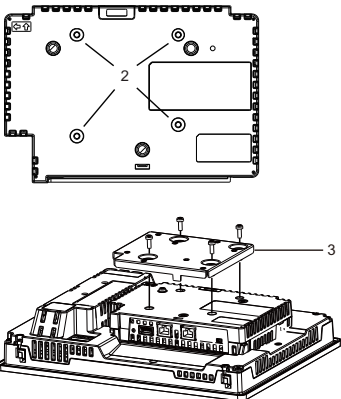
注記

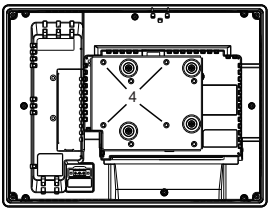
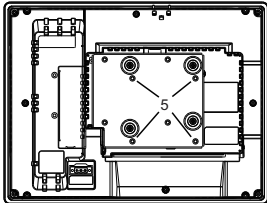
エンクロージャーの破損

- 取り付け金具のネジを締め付ける際には、1.5 N・m (13.3 lb-in) を上回るトルクをかけないでください。
- 下記の手順に示されているタイプのネジを使用してください。

上記の指示に従わないと、物的損害を負う可能性があります。

手順	手順内容
1	VESA 取り付けアダプターの梱包箱に、VESA 取り付けアダプターと M4 長さ 35 mm のネジが 3 個、M4 長さ 16 mm のネジが 4 個同梱されていることを確認してください。
2	VESA 取り付けアダプターに取り付ける前に、本製品をディスプレイモジュールに取り付けてください。(14 ページ参照)

手順	手順内容
3	<p>本製品とディスプレイモジュールをよりしっかりと固定するため、本製品背面の本体固定用ネジ穴に、同梱されている固定用ネジ (M4, 長さ : 35 mm) をプラスドライバーを使用して取り付けます。適正な締め付けトルクは 1.5 N・m (13.3 lb-in) です。</p>  <p>1 固定用ネジ穴</p>
4	<p>VESA 取り付けアダプターを本製品に取り付けます。同梱されているアダプター取り付け用ネジ (M4, 長さ : 16 mm) でプラスドライバーを使用して取り付けます。適正な締め付けトルクは 1.5 N・m (13.3 lb-in) です。</p>  <p>2 アダプター取り付け用ネジ穴 3 VESA 取り付けアダプター</p>

手順	手順内容
5	<p data-bbox="207 152 916 269">アームまたは壁設置アダプターを取り付けます。M4 長さ 10 mm 以下のネジで取り付けます。適正な締め付けトルクは 1.5 N・m (13.3 lb-in) です。ご使用のディスプレイモジュールサイズに対応する取り付け穴は以下の図でご確認ください。</p> <div data-bbox="259 291 606 560"></div> <div data-bbox="274 604 621 866"></div> <p data-bbox="207 895 782 953">4 VESA アーム取り付け穴 (SP-5400WA 以外の機種) 5 VESA アーム取り付け穴 (SP-5400WA)</p>

対象機種、証明書などの規格詳細については、下記 URL もしくは製品マーキングにてご確認ください。

<http://www.pro-face.com/trans/ja/manual/1002.html>

⚠ 危険

爆発のおそれ

- Class I, Division 2, Groups A, B, C, and D の危険区域での使用に適しています。
- Class I, Division 2 への適合性を損なうおそれがあるので代替部品は使用しないでください。
- 電源を遮断するか、危険区域でないことが確認できない限り、装置の切り離しをしないでください。
- 製品ラベルに記載された ANSI/ISA12.12.01 または CSA C22.2 N°213 証明書を確認して、本製品が危険区域での使用に適合していることを確認してください。
- 本書で許可されていない方法で本製品を設置、操作、変更、保守、修理したり改造したりしないでください。許可されていない行為は、本製品の Class I, Division 2 における作動の適合性を損なうおそれがあります。
- Class I, Division 2 の危険区域に取り付けた本製品の電源を入切する場合、以下のことを順守してください。
 - 危険区域外に設置されたスイッチを使用する。
 - Class I, Division 1 の危険区域での操作が認証されたスイッチを使用する。
- 装置の接続を切る際には、電源が入っていないことおよび装置区域に危険物が無いことを必ず先に確認してから行ってください。これは電源、接地、シリアル、パラレル、およびネットワーク接続など、すべての接続に適用されます。
- 危険区域では、シールドされていないケーブルや接地されていないケーブルを決して使用しないでください。
- キャビネットに設置する場合は、扉および開口部を常時閉じた状態にし、装置内に異物が堆積しないようにしてください。

上記の指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

お問い合わせ / アフターサービス

本製品でお困りのこと、ご質問など、いつでも解決のお手伝いをさせていただきます。

弊社サポートサイトへアクセスしてください。

<http://www.pro-face.com/trans/ja/manual/1001.html>

注記

本製品を使用したことによるお客様の損害その他の不利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

